

2023年3月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	17,525,367	1,009,340	1,736.3%	37,781,753	46.4%
国内旅行	7,491,035	3,167,125	236.5%	6,890,293	108.7%
訪日旅行	856,353	53,288	1,607.0%	2,664,513	32.1%
合計	25,872,756	4,229,754	611.7%	47,336,561	54.7%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ 5 社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較をするため、2019年同月比（2019年3月）を記載しております。

■ 海外旅行

3月13日からマスク着用の考え方が見直されるなど、日常生活の様式がコロナ以前に戻りつつある中、HISは「春旅スーパーセール」を全国で展開し、間際と夏の海外旅行需要喚起に努めてまいりました。3月出発の送客数においては、引き続き韓国が牽引しており、卒業旅行をはじめとする学生旅行シーズンと相まり、韓国行き取扱高は2019年同月比において8割まで回復を示しました。また取扱高においては、高単価のヨーロッパ方面が牽引しており、学生旅行と親子旅のお客様を中心に集客いたしました。中でも、添乗員同行ツアーにおけるフランス行き取扱高は、2019年同月比を超えるまで回復を示しております。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比1,736.3%、2019年同月比46.4%の175億2,536万円となりました。

■ 国内旅行

全国旅行支援と、学生旅行のピークシーズンといったレジャー需要の高まりもあり、2019年同月比を上回る取扱高となりました。3月中旬より海開きされ、海水浴シーズンとなった沖縄では、レンタカー不足が問題となっていることから、リゾートホテルが多く建つ恩納村エリアのリゾートホテルと、那覇市内・空港を結ぶリゾートシャトルを期間限定で運行するなど、独自の展開を図ったことにより、3月出発の集客・取扱高を牽引いたしました。また、チャーター便を利用した企画ツアーとして、成田と出雲を結び、「出雲大社」での特別参拝や「出雲神楽」の特別公演のツアーや、仙台から高松へのツアーなど、国内旅行需要の本格的な回復に伴う特別企画が、好評を得ております。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比236.5%、2019年同月比108.7%の74億9,103万円となりました。

■ 訪日旅行

訪日需要を押し上げる桜シーズンに入ったこともあり、2月の取扱高から約7割増加するなど、団体旅行の回復フェーズが加速しました。HISの訪日WEBサイトでは、訪日外国人に人気の高い桜や富士山を特集したページを展開し、FIT向けの富士・箱根のバスツアーや全国の桜を見るツアーの販促に努めました。また、子会社であるジャパンホリデートラベルでは、ベトジェットエアが3月16日から就航したバンコクと那覇を結ぶ定期チャーターの全設定日において100名様以上の集客をするなど、団体旅行の集客が好調に推移いたしました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比1,607.0%、2019年同月比32.1%の8億5,635万円となりました。

各旅行セグメントにおけるレジャー需要の回復が表れた結果、2019年同月比において、2カ月連続で5割台の回復となり、2023年3月の取扱高合計は、258億7,275万円となりました。また、HIS単体では、コロナ以降39ヶ月ぶりの単月黒字化となりました。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188
広報室：050-1746-4177